

◎国会職員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律

(平成二八年一一月二四日法律第八三号) (衆)

一、提案理由 (平成二八年一一月八日・衆議院本会議)

○佐藤勉君 ただいま議題となりました両法律案につきまして、提案の趣旨を御説明申し上げます。

…………… (略) ……………

次に、国会職員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律案は、政府職員の改正に準じて、育児休業等の対象となる子の範囲を拡大しようとするものであります。

両法律案は、本日、議院運営委員会において起草し、提出したものであります。

何とぞ御賛同いただきますようお願い申し上げます。

二、参議院議院運営委員長報告 (平成二八年一一月一六日)

○山本順三君 ただいま議題となりました両法律案につきまして、委員会における審査の経過と結果を御報告申し上げます。

…………… (略) ……………

次に、国会職員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律案は、政府職員に準じて、国会職員の育児休業等の対象となる子の範囲を拡大しようとするものであります。

委員会におきましては、両法律案を一括して議題としたところ、日本維新の会の東理事より、国会議員の秘書の給与等に関する法律の一部を改正する法律案に反対、国会職員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律案に賛成する旨の意見が述べられました。

次いで、順次採決の結果、国会議員の秘書の給与等に関する法律の一部を改正する法律案は多数をもって、国会職員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律案は全会一致をもって、それぞれ原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告申し上げます。

(注) 衆議院においては、委員会の審査は省略された。